

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「インフラ関連グローバル株式ファンド（愛称 いがたインフラサポート）」は、このたび、第9期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を含む世界の取引所上場株式（上場予定、DR（預託証券）を含みます。）等のなかから、防災・減災インフラ、環境インフラ、医療インフラ、デジタルインフラの4テーマに関連する企業の株式等に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第9期末(2026年6月22日)

基準価額	21,858円
純資産総額	5,581百万円
第9期	
騰落率	21.8%
分配金(税引前)合計	200円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

インフラ関連グローバル株式ファンド （愛称 いがたインフラサポート）

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2025年12月23日～2026年6月22日

交付運用報告書

第9期(決算日2026年6月22日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

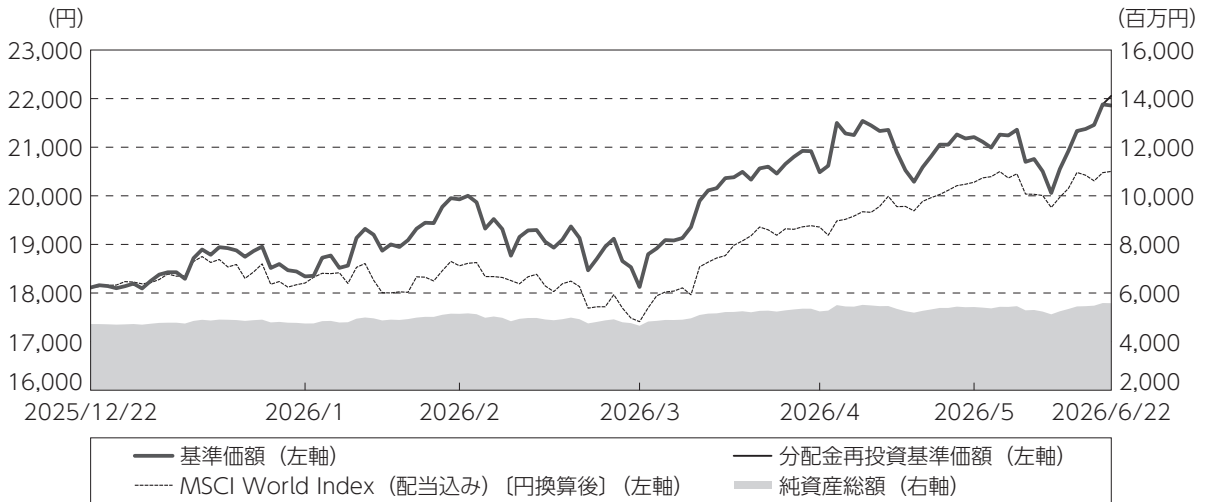
■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年12月23日～2026年6月22日)



期 首：18,113円

期 末：21,858円 (既払分配金(税引前):200円)

騰落率：21.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI World Index (配当込み) [円換算後] です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご覧ください。(以下同じ。)
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2025年12月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・個別銘柄で、環境インフラのアルガン、デジタルインフラのマイクロン・テクノロジー、防災・減災インフラのスターリング・インフラストラクチャーがプラスに寄与しました。
- ・為替市場で円が米ドルに対して下落(円安)したことがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・個別銘柄で、医療インフラのボストン・サイエンティフィック、医療インフラのインスメッド、デジタルインフラのマイクロソフトがマイナスに影響しました。

※各テーマの内容につきましては、後述の当ファンドのポートフォリオの「4テーマに関連する企業について」をご覧ください。

1 万口当たりの費用明細

(2025年12月23日～2026年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	165	0.850	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(80)	(0.411)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(80)	(0.411)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.023	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(4)	(0.023)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.015	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	172	0.888	
期中の平均基準価額は、19,363円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

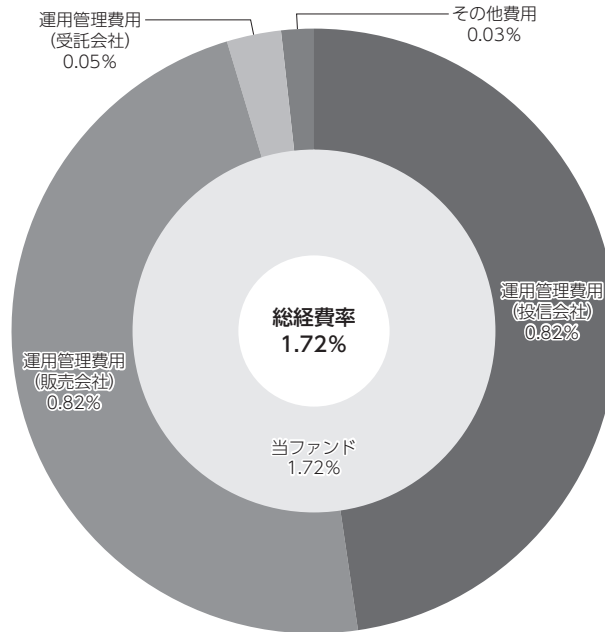
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

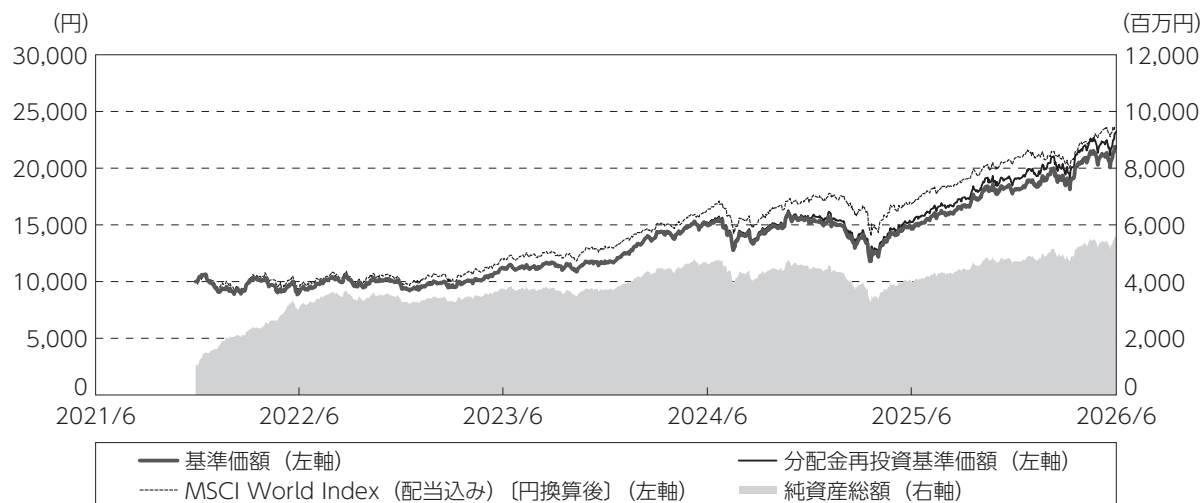
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年6月21日～2026年6月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) MSCI World Index (配当込み) [円換算後] は当ファンドの参考指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日(2021年12月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年12月20日 設定日	2022年6月20日 決算日	2023年6月20日 決算日	2024年6月20日 決算日	2025年6月20日 決算日	2026年6月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,001	11,228	14,964	14,644	21,858
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	200	400	400
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 10.0	24.7	35.1	0.5	52.3
MSCI World Index (配当込み) [円換算後] 騰落率 (%)	—	△ 5.7	27.8	35.3	3.2	40.3
純資産総額 (百万円)	1,051	3,048	3,756	4,621	3,984	5,581

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2022年6月20日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2025年12月23日～2026年6月22日)

当期間の世界株式市場は上昇しました。前半は、米国・イスラエルによるイラン攻撃によりリスク回避姿勢が高まったことや、原油や天然ガス輸送の要衝であるホルムズ海峡が事実上の封鎖状態となったことで原油価格が上昇し、実体経済や企業業績への懸念が高まりました。しかし後半に入ると、市場は反発に転じました。中東情勢を巡る緊張が徐々に緩和に向かい、過度な警戒感が後退したことや、AI・半導体関連銘柄への物色が強まったことを背景に堅調な推移となりました。

為替(米ドル/円)は、上昇(米ドル高/円安)する展開になりました。日米でのレートチェックや、日本政府・日銀による為替介入により一時的に円高に振れる局面もありましたが、原油価格上昇による貿易収支悪化懸念や米連邦準備制度理事会(FRB)が今後利上げに転じる可能性が意識されたことなどから円安が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年12月23日～2026年6月22日)

運用状況につきましては、株式等組入比率は概ね高位で推移させました。防災・減災インフラ、環境インフラ、医療インフラ、デジタルインフラの4つのテーマについては、デジタルインフラ株のウェイトを引き上げました。一方、環境インフラ株については、ウェイトを引き下げました。業種配分については、資本財株のウェイトを高位に保ちました。地域別では、主に米国と日本を中心に組入れを行っており、米国株を50%台前半から中盤、日本株を20%台中盤程度とし、2カ国で概ね75%～80%程度となりました。

4テーマに関連する企業について

防災・減災インフラ

災害による被害の予防や軽減を目指し、より強い地域・国づくりを支える企業

環境インフラ

住みよい地球を守り、持続可能な社会のために環境面で支える企業

医療インフラ

健康と公衆衛生を守り、より先進的で革新的な医療体制を可能にする企業

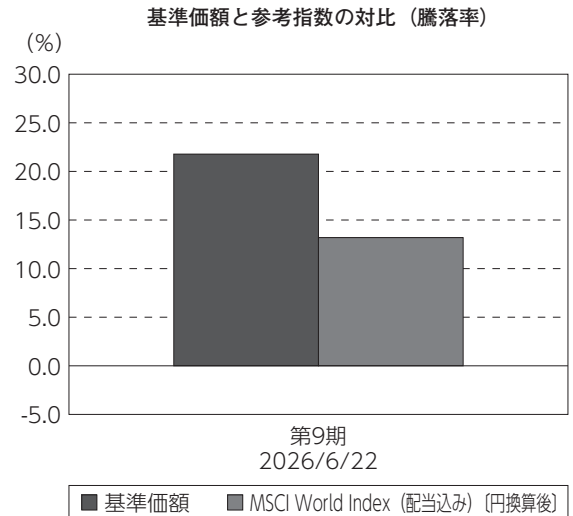
デジタルインフラ

次世代通信技術など最先端の技術で、新しい世界を創造する企業

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年12月23日～2026年6月22日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、MSCI World Index（配当込み）[円換算後] です。

分配金

(2025年12月23日～2026年6月22日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第9期
	2025年12月23日～ 2026年6月22日
当期分配金	200
(対基準価額比率)	0.907%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,051

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

当面の世界株式市場は堅調に推移すると予想します。主な上昇要因は企業業績の拡大と考えており、特に業績の大幅な拡大が期待されるA I 関連銘柄への資金流入が株価の上昇を牽引する見通しです。その過程では、A I 関連銘柄の過熱感を巡る議論も高まると見えています。リスク要因としては景気の停滞と物価の上昇が同時に進行する局面で利上げが選択される点が挙げられます。その場合には一定期間を経て、株価は調整局面に入る可能性があります。

インフラ関連銘柄については、デジタルインフラ株が堅調に推移すると見えています。生成A I に対する過剰投資懸念から短期的に株価が調整する場面も想定されるものの、中長期的には上昇していく確度が高いと見えています。また、A I の普及により電力需要が大幅に増加すると見込まれる中で、電力インフラを支える企業群も底堅く推移すると予想します。

(運用方針)

ファンドの基本方針に基づき、日本を含む世界の取引所上場株式等のなかから、防災・減災インフラ、環境インフラ、医療インフラ、デジタルインフラの4テーマに関連する企業の株式等に投資を行います。銘柄選定については、各テーマに関わる企業の技術、製品、成長性、収益等に着目し、セクターやマーケット動向を勘案して組入銘柄や組入比率を決定します。今後の運用につきましては、概ね現行のポートフォリオを維持する計画です。生成A I 普及により、構造的な需要拡大が見込まれるデジタルインフラ株の組入比率を高めにコントロールする方針です。

お知らせ

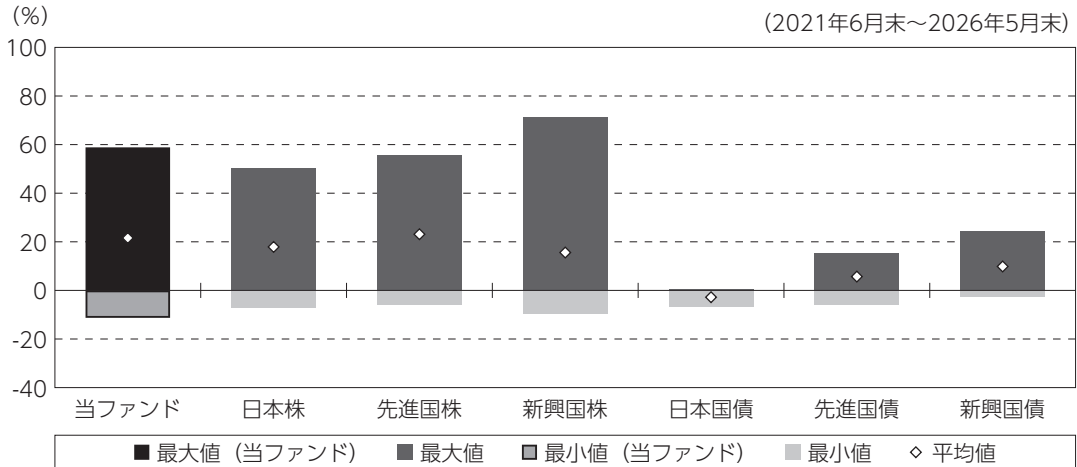
- ・販売会社と委託会社は、ファンドの信託報酬（日々の純資産総額に対し年率0.2%を乗じて得た額）から、新潟県のインフラ関連事業を応援するために寄附を行います。
なお、作成対象期間中、寄附は行いませんでした。
- ・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。（実施日：2026年4月1日）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	2021年12月20日から2031年12月19日までです。
運 用 方 針	日本を含む世界の取引所上場株式（上場予定、DR（預託証券）を含みます。）等のなかから、防災・減災インフラ、環境インフラ、医療インフラ、デジタルインフラの4テーマに関連する企業の株式等に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	日本を含む世界の取引所上場株式（上場予定、DR(預託証券)を含む。）等を主要投資対象とします。
運 用 方 法	株式等への投資にあたっては、各テーマにかかわる企業の技術、製品、成長性、収益性等に着目し、各テーマで個別に銘柄選定を行います。 ポートフォリオ構築にあたっては、定量分析、定性分析、流動性、マクロ要因等を勘案し、各テーマへの投資金額を株式等への投資金額に対して15%程度を下限としてポートフォリオを構築します。
分 配 方 針	毎年6月20日および12月20日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	58.9	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
最小値	△ 11.3	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	21.6	17.9	23.1	15.6	△ 2.8	5.7	9.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年6月から2026年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2022年12月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

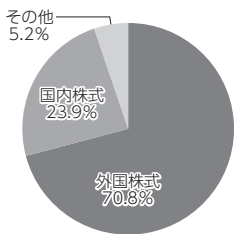
組入資産の内容

(2026年6月22日現在)

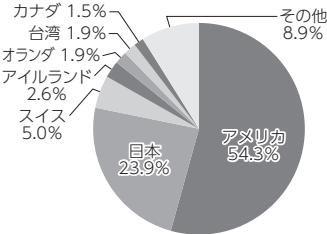
○組入上位 10 銘柄

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
					%
1	ARGAN INC	資本財	米ドル	アメリカ	3.4
2	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	2.7
3	MICRON TECHNOLOGY INC	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	2.6
4	CORNING INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	2.6
5	STERLING INFRASTRUCTURE INC	資本財	米ドル	アメリカ	2.5
6	CARPENTER TECHNOLOGY	資本財	米ドル	アメリカ	2.0
7	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	半導体・半導体製造装置	米ドル	台湾	1.9
8	SANDOZ GROUP AG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	スイスフラン	スイス	1.8
9	アドバンテスト	電気機器	円	日本	1.7
10	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	1.7
組入銘柄数			103銘柄		

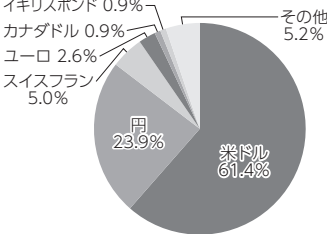
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国 (地域) および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第9期末
	2026年6月22日
純資産総額	5,581,479,644円
受益権総口数	2,553,528,429口
1万円当たり基準価額	21,858円

(注) 期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は54,010,219円です。

＜当ファンドの参考指数について＞

MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

○MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA－BPI国債

NOMURA－BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA－BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。